

 **AUGUST**

AUGUST OFFICIAL HANDBOOK

2018 SUMMER

◆ あいりすミステリア! ショートストーリー

愛と忠誠の騎士

加賀宮 孝一

◆ 近日再開予定!

あいりすミステリア!

～少女のつむぐ夢の秘跡～

◆ スタッフ対談

あいりすミステリア!

～少女のつむぐ夢の秘跡～

＊まえがき

Introduction

こんにちは、オーガストです。

初めての方、はじめまして。何度目かの皆様、いつもご愛顧いただきありがとうございます。

2018年6月23日には、ディファ有明にて「AUGUST LIVE! 2018」が開催されました。

ご来場くださった皆様、ありがとうございました。

今回はファンタジー風味も加わるということはどうなるのか楽しみにしていたのですが、想像以上に会場は盛り上がり、多くの方楽しんでいただけたのではないかと考えています。

冬頃にはライブのBlu-rayも発売されるかと思っております。

そちらもどうぞよろしくお願いたします。

また2018年7月26日には『大図書館の羊飼い Library Party』

Nintendo Switch版を発売し、現在大変ご好評をいただいております。

つぐみや金魚がいきいきと学園生活を送っているのを見ると、

またスピンオフや続編を作りたくなります。

できればPS4版も作れば……と考えていたのですが、

SIEさんの規定が厳しくなったことから、現在対応策を検討中です。

こちらはもう少しお待ちくださいませ。

それでは、多少のお時間を拝借いたしますが、

オフィシャルハンドブックをお楽しみください。

2018年8月 オーガスト/ARIAスタッフ一同



AUGUST OFFICIAL HANDBOOK 2018 SUMMER

- 3 あいらずミステリア! ショートストーリー
愛と忠誠の騎士
- 8 近日再開予定!
あいらずミステリア! ~少女のつむぐ夢の秘跡~
- 10 スタッフ対談
- 11 あとがき



愛と忠誠の騎士

加賀宮孝一

「突然変異した巨大スライム……主、ユー、どう思いますか？」

アシユリーが冒険者ギルドの掲示板を指差した。そこには、巨大スライムの討伐依頼が貼られている。

種子の反応を追って、俺たちはとある街へとやって来た。情報収集のため冒険者ギルドを覗いてみたのだが、さっそく当たりを引いたようだ。横にいるユーも息巻いている。

「モンスター突然変異……間違いありません、きつと種子の力が影響しているはずですよ」

「つまり、このスライムはアシユリーと同じ《シーダー》ってことだな」

俺の意見に二人が頷く。《シーダー》とは種子を宿した者の呼び名だ。

「俺とユーは戦えないけど、一人で大丈夫かアシユリー？」

「主、ご心配なく」

アシユリーがずっと一歩近寄ってきた。顔には自信が満ちている。

「主の騎士として、必ずや私がスライムを討伐してみせましょう」

「そうか。じゃあ、任せたまえ」

「はいっ。このアシユリー・アルヴアステイ、主の期待に応えますよ！」

声高らかに宣言して、きらきらと瞳を輝か

せている。俺はアシユリーの頭に優しく手を乗せた。

「頑張りすぎないように落ち着いてな」

「あ……す、すみません。主にために戦えるのが嬉しくて、思わず声が大き。ははは」

アシユリーがはにかんで笑った。撫でられてくすぐったそうにしているが、拒もうとはしない。

「ふふ。アシユリーさん、冥王さまに撫でられる時は普通の女の子ですねえ」

「そんな事はありません。主にお気遣いいただき、騎士として嬉しく思っただけですよ」

ユーに指摘されて、取り繕うように咳払いをするアシユリー。

その時、ギルドにいた数人の剣士が近寄ってきた。視線はアシユリーに注がれている。

「すみません、主。少々お待ちを」

俺にべこつと頭を下げてから、剣士たちと話しはじめるアシユリー。どうやら一緒に仕事をしないかと誘われているらしい。

ユーがこそそと話しかけてくる。

「アシユリーさん、やっぱり人間界じゃ大人気ですね。声をかけられたの、もう十回目くらいですよ」

「さすがは《白銀の疾風》だ」

二人して感心した。

《白銀の疾風》という異名と共に、アシユリーの名声は世界中に知れ渡っているのだ。街を歩けば、アシユリーに憧れる騎士や剣士、さらには子供にまで声をかけられる。

誘いを丁寧に断ったアシユリーが、ため息をつきながら傍へ戻ってきた。

「お待たせしてしまい申し訳ありません。はあ、名が知れるというのも考えものですな」

「あー。そういえば、求婚されたりもするんですたっけ？」

「ええ。もちろん全て断っていますが……正直、疲れますね」

アシユリーの名が知れ渡っている原因は二つある。一つは騎士としての強さ。そして、もう一つは凛とした美貌だ。強さと美しさを兼ね揃えた女騎士に心惹かれる者は多い。

「そういった経験もあり、私は恋愛事が少々苦手です」

困り顔で笑うアシユリー。だがすぐに凛々しい騎士の顔になる。

「ですが、そもそも騎士に色恋沙汰は不要。何の問題ありません。日々、主のために鍛錬あるのみですよ」

「え？ でも、アシユリーさんって冥王さまが好きなんですよね？」

「はいっ!？」



……今さら、恋心など芽生えるはずもありません」

少しの沈黙を挟んで断言した。清廉な騎士として生きていたアシユリーは、一人の女の子として恋愛をした経験もないのだろう。

「では、気を取り直してスライム討伐へまいりましょう、主！」

アシユリーが強引に話を切り上げて歩きます。俺はユーと顔を見合わせてから、その後が続いた。



アシユリーの先導で、街道を離れた野原を進む。眩しい陽光の下には草花が広がり、風が吹くと涼やかな葉擦れの音が響いた。空を見上げたユーが気持ちよさげに目を細める。

「うーん、のどかがいいところですねえ」

「同感ですが気を付けてください。ここはもうスライムの生息地です」

周囲を警戒するアシユリー。すでに何匹かのスライムに遭遇しているのだ。もちろん、アシユリーの敵ではなかったが。

「ギルドの情報によると、巨大スライムはこの先に……」

そう言いながらアシユリーがちらちらと窺ってくる。俺とユーが手を繋いでいるのが気になっているらしい。試しに、もう片方の手も差し出してみる。

「アシユリーも手、繋ぐ？」

「……いいえ、結構です。私は騎士ですので」
きつぱりと答えて首を振るアシユリー。手を繋ぎたそうに見えたのは俺の勘違いだろうか。

「……アシユリー、動くな」

「あ、主？」

俺はアシユリーの肩に手を置いた。そして、薄く朱色の差した頬にそっと指を添える。きめ細やかな肌は触れるだけでも心地いい。アシユリーはびくつと肩を震わせ、ぱくぱくと口を開閉させている。

「えええっ!? 主、一体何を……いい、いけません、私たちは主と騎士なので……!」

なぜか、ぎゅつと目を閉じている。俺は指先を滑らせ、アシユリーの頬に付いていた液体を拭った。

「よし、取れた。戦ってる時に、スライムの体液が付いたんだろうな」

「ふえ？」

アシユリーが目を点にして可愛い声を出す。やがて事情を察したのか、深い息をついた。

「主、驚かさなてください。わ、私はつきり……」

「悪い悪い。でも、あんまり無茶はするなよ。スライムの液体で、アシユリー的美貌が台無しになる」

「はうっ!?」

「つて、これくらいアシユリーなら言われ慣れるか。ははは」

アシユリーは今まで多くの求婚を断ってき

アシユリーが露骨にたじろいで俺を見た。さつと耳だけを赤くして、すぐに視線をユーに戻す。

「そんなはずがありません！ 騎士が主へ抱く感情は忠誠心だけで十分！ 恋心など……主を守るための剣を鈍らせるだけでしょー!」

「は、はい、失礼しました!」

アシユリーの迫力に驚いたのか、ユーが俺の腕にしがみついていた。

「む……!」

唇を引き結んで何か言いたげなアシユリー。だが、すぐに深呼吸をして冷静さを取り戻す。

「いいですか、ユー？ 私が主に恋をしているように見えるのは、忠誠心の篤さの現れです。そもそも、忠誠一筋で生きてきた私に

た。甘い言葉の一つや二つは簡単に受け流せるだろう。

「は、はい。確かに、今までに何度も『美しい』という言葉は聞いてきました……ですが……」

「ですが？」

自らの胸を押さえるアシユリーが赤い顔のまま俯いた。何だか、やけに動揺している。

「（こんなにも胸が高鳴るのは初めてです……この感情は何？ も、もしかして……いえ、そんなはずがありません。私は騎士！ きつとこれは——）」

俯いたまま何か呟いている。ユーが心配そうに顔を覗きこんだ。

「アシユリーさん？ 大丈夫ですか？」

「——これは忠誠心です……！！」

「うわあっ!？」

驚いて飛びすぎるユー。いきなり声を発したアシユリーは拳を握り、ゆっくりと片膝をついた。

「主、改めて誓わせてください。私は騎士、主に捧げるのは揺るぎない忠誠のみです」

真摯な瞳で見つめてきた。頬に差している朱色は、本当に忠誠心だけが原因なのだろうか？ 気になったが、ここはアシユリー本人の言葉を尊重しよう。

「ああ。アシユリーの忠誠心は俺が誰よりも知ってる。これからも頼もしく思うよ」

「はい。ありがたきお言葉です」

アシユリーが頭を垂れてから立ち上がる。

「……ん？ んん？」

「ユー？ どうしました？」

「いえ、その……アシユリーさんから感じる種子の力が、さっきより強くなっているんです」

アシユリーをまじまじと眺めながら、ユーが首を傾げた。種子は宿った者の精神に呼吸するため、いきなり力が強くなったとしても不思議ではない。

「確かに、身体の奥から力が湧いてくるような感覚があります。やはり、主への忠誠心こそが私の強さの源なのでしょうね！」

「むむむ……本当に忠誠心だけが原因なんでしょうか？」

「ええ、間違いなく」

満ちげな顔で頷くアシユリー。対照的に

ユーは納得していなさそうだ。

「さて、目的の巨大スライムは近いですよ。主、ユー、先へ進みましょう！」



「はああああああっ……！！」

「スラー……ッ……！！？」

アシユリーの放った一撃が巨大スライムを斬り裂いた。普通のスライムとは比べものにならない巨躯。それが縦に大きく裂ける。

「やったか!？」

「冥王さま、それフラグです！」

真つ二つになりかけたスライムがもそもそと蠢く。すると、斬撃による切り口が接着して元の形になった。青い球体をした身体に、

口と粒のような腫がついている。「スラー……ッ！」

「いーやー！ やっぱり復活しましたー!！」

「くっ……異常な再生力ですね。これも種子の影響でしょう」

《シーダー》である巨大スライムから距離を取るアシユリー。俺とユーを守るように立ち、戦意を漲らせている。

「もつと種子の力を引きださなくては……主への忠誠をもつと……!！」

「スラッ!！」

俺たちを睨むスライムの身体から幾本もの触手が生えた。先端がこちらを向いて静止する。

「っ! 主、ユー、逃げ——!！」

言い終わるより先に触手が伸びた。ユーをかばった瞬間、身体にスライムの触手が巻きつく。そのまま勢いよく引かれて持ち上げられた。

「主つ!！」

「冥王さまっ!！」

俺を見上げるアシユリーたちが悲壮な声で叫ぶ。心配するな——そう言おうとした瞬間、触手の締めつけが増した。

「がはっ……!？」

身体中に骨の軋む音が響く。口内に鉄の味が広がり、唇の端から血が漏れた。

「貴様っ!！」

「スラッスラッスラッ」

凄むアシユリーをスライムが嘲笑う。俺を人質にしたつもりらしい。アシユリーが斬りかかれば、このまま身体中の骨を砕かれるだろう。だが、無駄な事だ。俺は普通の人間で



はない。

「アシュリー、気にせず戦え! 俺はちょっとやそつとじゃ死なない!」

「ですが……!」

唇を噛んで迷いを見せている。俺の命令に頷かなかったのは初めてだ。スライムの触手が鞭の如くしなり、アシュリーに襲いかかる。

「くっ……!」

触手を断つ白銀の剣。だが、スライムには微塵も効いていない。次々に触手を生み出してアシュリーをいたぶろうとしている。反撃しない限り防戦一方のジリ貧。このままではアシュリーもユーも危ない。

一刻も早く戦いを終わらせるため、俺はわ

ざと厳しい言葉を放つ。

「アシュリー、俺に構わず戦うんだ! 主の命令に背く気が!」

「……たとえ命令だとしても、主が傷付くところなど見たくありません!」

「騎士として忠誠を貫くと決めただろう! 命令を聞くんのだ!」

アシュリーが泣きそうな顔を噛み、剣を握り直した。

「(そうだ……主に忠誠を捧げるのだと、私は誓ったばかりだ。なのに、命令に反しても主を傷つけまいとするこの気持ちは一体?)」

「ええっ!?」

おろおろと戦いを見守っていたユーが目を見開く。

「ア、アシュリーさん、また種子の力が強くなりました!!」

「なっ!? ど、どうして今?」

「今、感じている気持ちは強さの秘密という事です! アシュリーさん、その気持ちは忠誠心が全てですか!? いいえ、きつと違うはずです!」

「忠誠心では、ない……!」

困惑しながら俯くアシュリー。スライムはここぞとばかりに大量の触手を生やした。

「(忠誠心ではなく、この気持ちこそが力の源。胸が高鳴り、熱く疼いて……頭の中が主で一杯になっていく。ああ、やはりこの気持ち

は……!」

「スラー……!」

瞬間、アシュリーが光速の一閃を走らせた。

眼前に迫った触手を斬り伏せたのだ。さらにもう一本、もう一本、もう一本——アシュリーは一瞬たりとも動きを止めない。絶え間ない触手の攻撃を躲し、斬撃を放ち続ける。振るわれる剣はもはや目で追えず、白銀色の残像だけが浮かぶ。まさしく『白銀の疾風』。

瞬きすら許されない斬撃の嵐だ。あつという間に触手を斬り落としたアシュリーが、ゆっくりと顔を上げた。

「主……私はようやく気付きました!」

もはや表情に迷いはない。雨後の太陽のように晴れやかで清爽だ。柔らかな笑みをこぼして、眩しげに目を細めている。

「私はきつと、あなたに恋をしているのです!」
そう口にした瞬間、アシュリーの身体から輝きが迸った。種子の力が溢れ返ったのだ。光を纏ったまま、一歩ずつスライムに歩み寄る。

忠誠心だけでなく、恋心という強い想いもまた力の源。だからこそ、恋心をはっきりと自覚したアシュリーは強くなった。

「スラッ……!」

身の危険を本能で察したのか、スライムがわずかに後退。アシュリーは歩みを止める事なく剣を構えた。

「奥義! シルバー——グンデライオンツツツ!!!!!!」

迸る輝きを剣に纏わせ、力のままに振り下

ろす。稲妻の如き一刀によってスライムは両断。再生の間すら与えない光速の剣だ。俺を縛っていた触手から力が抜け、動かなくなつたスライムの上に着地。ついでに傍らに落ちていた種子を回収した。

「主！」

「冥王さま！」

地面に降り立つとアシユリーとユーが駆け寄つてきた。俺は片手を上げて答える。

「大丈夫だ、身体は痛むけど気にする程じゃない。助かったよ、アシユリー」

「いいのです。それよりも……申し訳ありません。私は騎士でありながら、主の命令に背いてしまいました」

「結果オーライだから気にするな。いきなり告白されて、ちよつと驚いたけど」

そう言うと、アシユリーが胸の前でぎゅつと手を握つた。頬が真っ赤になっている。

「あ、主……その事について、少しだけ話を聞いていただいてもよろしいでしょうか？」

「ああ」

頷くと、アシユリーがぼつぼつと語り始める。

「主に抱いている気持ちですが忠誠心だけではない事は、自分で気付いていました。ですが、それが恋心だとは思わなかったのです……いいえ、心のどこかでは気付いていても、そう認める事ができなかったのです」

首を振つてから、切なげな瞳を向けてくる。

「ギルドでも口にしたように、私は忠誠以外の感情……ましてや恋心など、主を守るための剣を鈍らせるだけだと思つていたので」

アシユリーは清廉な騎士だ。いつだって俺を守る事だけを考えている。だからこそ、俺に抱く感情は忠誠だけで十分だと信じていた。

「ですが、恋心は人を強くするのだと……たつた今、この身に宿る種子に教えてもらいました。より強くなり、主をお守りするために……私はこの気持ちを受け入れます」

すうつと息を吸いこんだアシユリーが、唇を震わせながら言葉を紡ぐ。

「改めて言わせてください。私は……アシユリー・アルヴァステイは、主に恋をしています」

いつものアシユリーと違って、声には緊張が入り交じっている。だが、何の装飾もない真つ直ぐな言葉は、俺の心の深い場所へと届いた。

「この愛と忠誠を捧げ、私は主をお守りいたします。主に恋をしてしまうような騎士ですが、これからも……お傍に置いていただけるでしょうか？」

上目遣いのまま瞳を潤ませている。初めて抱いた恋心を伝えて、どんな反応をされるのが不安なのだろう。俺はアシユリーの頬を撫でて、優しく微笑んだ。

「ああ、もちろんだ。これからも俺の騎士でいてくれ、アシユリー」

「主……！ はい、はい……私の剣は、いつでも主のために！」

花が咲いたような笑顔になり、アシユリーは感極まった様子で片膝をついた。ユーはもらい泣きしてぐずぐずと鼻をすすっている。

「うう。良かったですなあ、アシユリーさん。ぐすつ」

「ありがとうございます、ユー……。あなたは最初から気付いていたのですね、私が主に恋をしていると」

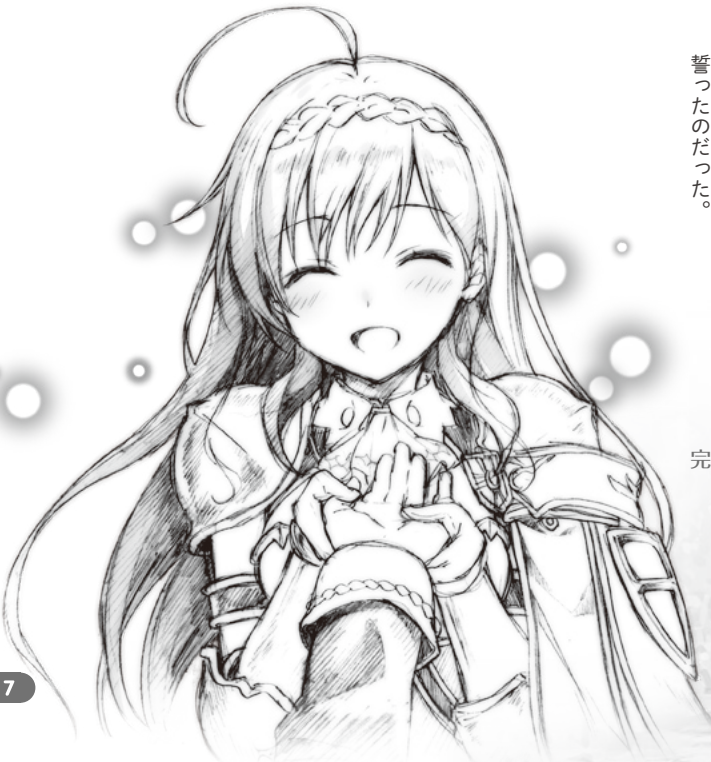
「見てるだけで丸わかりですよ。ぐずぐず」「ふふつ……。身体が軽く、心も温かい。主、恋とは良いものですね」

恋愛事が苦手だと語り、恋心を自覚していなかったアシユリー。だが、今は頬を染めて清々しい顔で見上げてくる。そつと手を差し出すと、はにかみながらも握つてくれた。

——守られるだけじゃない。この繋がりと温もりを、俺も大切に守っていこう。

アシユリーの笑顔を見ながら、俺はそう誓つたのだった。

完



AUGUST × DMM GAMES

ただいまっ
冥王さま!

おひさまのミステリア!

～少女のつむぐ夢の秘跡～

近日再開予定!

戦場を彩る
潇洒な軍師
プリジラ

永劫なる平和の光輝
ルージェニア

新規SSR聖装も登場!!

SSR出現率2倍

事前登録キャンペーン開催中!!

事前ガチャの総数に応じた、多数のプレゼントをご用意しています!

150,000回

フレアライト
×300

★ 召喚1回分 ★

300,000回

フレアライト
×600

★ 召喚2回分 ★

500,000回

直筆サイン入り
複製原画

抽選で15名様



※画像はイメージです

700,000回

フレアライト
×900

★ 召喚3回分 ★

1,000,000回

フレアライト
×1,200

★ 召喚4回分 ★

1,300,000回

振り下ろしボイス入り
目覚まし時計

抽選で5名様



好きな
アイリスが
選べる!

※画像はイメージです

1,500,000回

フレアライト
×1,500

★ 召喚5回分 ★

2,000,000回

フレアライト
×1,500

★ 召喚5回分 ★

2,500,000回

直筆サイン入り
描き下ろし
サイン色紙

抽選で3名様



好きな
アイリスが
選べる!

※画像はイメージです

事前登録については公式サイトをご覧ください : <https://dmm-imys.com>

長期リニューアル中、近日再開予定です

タイトル あいりずミステリア! ~少女のつむぐ夢の秘跡~

プラットフォーム PCブラウザ (DMM GAMES よりログイン) / Android™

キャラクターデザイン・原画 ベっかんこう / 夏野イオ **シナリオ** 榊原拓 / 内田ヒロユキ / 安西秀明

音楽 ActivePlanets **CG着彩** ペペル / ひろた / 巻道 / 弥弛 他 **背景美術** ペペル

★ メンテナンス以前よりプレイ頂いている皆様へ ★
公式サイトにて補填内容についてご案内しております。ぜひご確認ください。



スタッフ対談

べっかんこう×榊原拓

#48

2018.7.7 17:50 開発室にて

べっかんこう(以下「べっ」) さて、対談の時間がやってきましたね！

榊原拓(以下「榊」) 今回で小冊子もなんと50冊目です。

べっ そんなになりましたか。あれ、手元のカットのナンバリングを見ると、対談は48回目ですよ。

榊 えーと……2010年冬の織翼フルカラー小冊子と、2015年夏の千桃フルカラー小冊子が対談無しで。

べっ ああ、じゃあびつたりですね。

榊 さてさて、大変長らくお待ちいたしました。「あいミス」のリニューアルが済んで、再リリースまであと少しとなりました。

べっ お待たせしている間に僕たち原画チームはもりもり新しい立ち絵を描きましたよ。

榊 シナリオチームも、どこまでとは言えないんですが、シナリオをたくさん書きました。

べっ 一作品でこれだけ立ち絵を描くことはなかったもので、試行錯誤の連続です。CGの彩色もですが、色々新しいやり方を試したり新鮮な気持ちで臨んでいますよ。

榊 こちらも多くのキャラクターを作ったので、それぞれの個性をシナリオ上で発揮させていくのは、やり甲斐があるチャレンジです。

べっ そもそもゲームシステム自体が今までうちが作ってきたものとは違いますが、そこが一番新鮮かも？

榊 確かに、RPGや戦略シミュレーション、アクションからSTGに至るまで、ゲームパートで使い込んで活躍してくれたキャラクターには愛着が湧きますよね。

べっ 早くキャラを育成したいなー。

榊 そうそう。今回の再リリースでは、ブラウザ版だけでなく、Android版も同時にリリースされる予定です。

べっ 同じアカウントで両方プレイできるんですよ。

榊 そう聞いています。どこでもプレイできるようになるのは便利そうで楽しみです。

べっ で、話は飛びますが、今年は「FORTUNE ARTERIAL」10周年ですよ！この対談のカットにも白ちゃんを描きました。

榊 感慨深いですね。長かったような、つい昨日のことのような……。

べっ びっくりしますね。今回、記念グッズの抱き枕で久々に瑛里華と陽菜を描きました。

榊 久しぶりに描いてみてどうでした？案外すらすら描けたり？

べっ よく手が覚えていて～みたいな話があつたりしますが、頑張っと思ってしつづつ、昔の資料をひっくり返しながらのスタートでした。でも、描いていくうちにやっぱりだんだん思い出してきて、ああたくさん描いたなって懐かしくなって手が動くという。

榊 ああ、シナリオでもそういうことあります。キャラがだんだん自分から喋るようになるというか。

べっ FAのキャラデザは気に入っているの、今回描けなかったキャラも含めて、また描く機会があるといいなと。

榊 男性陣もけっこう書いて楽しかったですよね。あとは白が雪丸を追いかけたり、かなでさんがベランダから侵入してきたり……いろいろ思い出してきました。

べっ かなでさん察長なのにフリーダムでしたね(笑)

榊 懐かしい作品やキャラクターを今でも好きだと言ってくれる方が多いのは、本当に励みになります。

べっ これからもまた長く愛してもらえる作品を作りたいですね。がんばりましょう！



＊あとかき

Postscript

オフィシャルハンドブックをお読みいただき、ありがとうございました。
お楽しみいただけましたでしょうか。

大変お待たせいたしました。『あいらすミステリア!』ですが、
大規模リニューアルの終了とサービス再開に向けて、事前登録が始まりました。
グッズが当たるキャンペーン等も行っておりますので、
よろしければ是非ご登録くださいませ。
(リニューアル前のバージョンをプレイされていた方は「事前登録済み」となっており、
今回の事前登録キャンペーンに伴う特典も全てお受け取りいただけます。是非アクセスしてみてください!)

なおリニューアルにあたり、「樹理学園へようこそセット」の
特典コードに「SR確定チケット」を追加しております。
これから新たにご購入の方ももちろん、すでにコードをお使い
いただいた方にも、ログイン時に追加で配布される予定です。
アレンジBGMが5曲入ったCDも同梱しておりますので、
もしよろしければお手にとっていただければと思います。

今回のリニューアルは、今度こそゲームをしっかりとお楽しみ
いただけるようにと考えたことから、かなりの時間を要してしまいました。
前のバージョンをプレイしていただいていた皆様には、
長らくお待たせしてしまうこととなってしまい、誠に申し訳ありませんでした。

ゲーム自体の稼働は、当小冊子が配布される頃には数週間後に迫っている予定です。
この『あいらすミステリア!』という作品やキャラクターに注いだ愛情と熱意は、
これまでの作品と何ら変わることはありません。
どうか楽しんでプレイしていただければと願っております。

また、当初の予定よりも遅れが出てしまいましたが、水面下では
「千の刃濤、桃花染の皇姫」ファンディスクの製作も進めています。
こちらも、近日中にあらためてご案内ができればと思います。

今後とも、オーガスト/ARIAをどうぞよろしく願いたします。

2018年8月 オーガスト/ARIAスタッフ同



＊ AUGUST OFFICIAL HANDBOOK

2018 SUMMER

企画・制作



<http://august-soft.com/>



<http://aria-soft.com/>

当小冊子の一部のページを撮影し、ブログ・SNS等に転載していただくことは問題ございません。＊全ページを複製配布することはご遠慮下さい。



AUGUST OFFICIAL HAND BOOK
2018 SUMMER